

## タブレット端末による「市民図書館電子書籍」の利用

令和4年7月から児童の1人1台タブレットでも、昭島市民図書館の電子書籍サービスに簡単にアクセスできるようになりました。

### 電子書籍って？

市民図書館の貸出券があれば、図書館に行かないでも、学校や家庭で、タブレット等を使って電子書籍を読むことができます。

### 何ができるの？

- 1 学校の学習で、電子書籍を読書や調べ学習に活用できます。
- 2 学校でも家庭でも、タブレットで利用することができます。
- 3 家庭の端末（パソコン等）でも利用することができます。

〔貸出券〕がない人は、学校か市民図書館に問い合わせして下さい。



電子書籍を借りると

学校でも利用

持ち運び

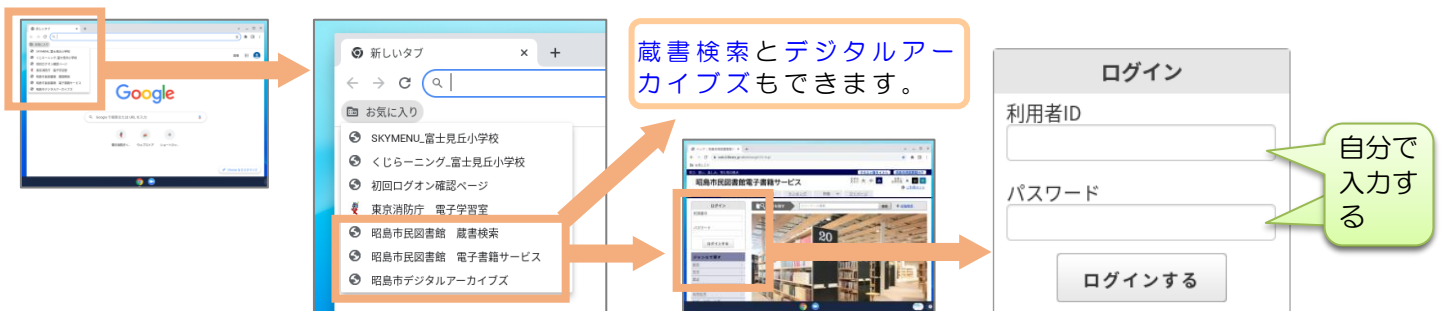
家庭でも利用

不要



### どうやって使うの？

タブレットの「お気に入り」から「電子書籍サービス」を選択して、**個人の貸出券のID・パスワードでログイン**します。



- 〔貸出〕 ○ 貸出点数 … 1人2点まで  
○ 貸出期間 … 15日間（期限が切れると自動的に返却措置）
- 〔予約〕 ◇ 予約点数 … 1人2点まで（貸出中の書籍のみ予約可）  
◇ 取置期間 … 6日間（書籍が確保できても通知は届きません）
- 〔延長〕 □ 延長回数 … 1回（予約が入っていない場合のみ可）  
□ 延長期間 … 15日間（延長ボタンを押してから）

※ 家庭の端末（パソコン等）では、市民図書館に直接アクセス ⇒ ⇒



### 電子書籍のメリット・デメリット

#### （メリット）

居ながらに貸出・返却・予約ができるので、重い本を持ち運ぶ必要がなく、時間短縮とともに、多くの本に触れ合い、読書の幅を広げることができる。拡大縮小や読み上げ機能で多様な活用ができる。

#### （デメリット）

司書の相談や実際の本に触れながら探せない。図書館の空気感や紙本来の質感を味わえない。使い方により目の疲れ、視力低下等が心配される。ページをめくるのに時間がかかる。本のように手に持って読書はできない（重い）。

### 本校での活用方針

#### （読書）

児童が、生涯に渡り読書に親しむ習慣や、感性・情緒の基盤としての言語能力を育むために、紙の本の香りやページをめくる感覚など、紙本来の質感を味わいながら五感で活字を楽しむとともに、対面での読み聞かせなどをこれからも大切にしていきます。

#### （調べ学習）

情報があふれる時代において、必要な情報を、信頼のおける媒体から取捨選択する力を育むために、紙の図書を中心としつつ、安全に素早く手に入れる手段として電子書籍も適切に活用していきます。